

### Ⅲ 養殖水産動物保健対策推進事業\*

小 川 健・服 部 未 夏

#### 目 的 事業の内容と結果

養殖水産動物保健対策推進事業実施要領（1994年6月，水産庁）による。

- 1 魚類防疫対策
    - 1) 魚類防疫対策
      - (1) 魚類防疫対策
        - ア 魚類防疫会議
- 1995年度の実施状況は表1に示した。

表1 魚類防疫会議実施状況

年 月 日	会 議 名	場 所	備 考 (議 題 等)
'95. 9.20	第22回全国魚類防疫推進会議	仙台市	平成8年度魚病・養殖関係予算 ギンザケの冷水病について 養殖用種苗の防疫問題について
'96. 3. 5	第23回 "	東京都	平成7年度魚病・養殖関係予算の概要 魚類防疫の制度化について クルマエビの全国的な防疫体制について 魚病情報ネットワークシステム実用化事業について
'95. 4.19 20	南西海ブロック魚類研究会	広島市	1994年度各県の魚病発生状況と問題点 ブリの黄疽症，輸入カンパチのVNN症 についての症例検討 種苗の健康管理について
'95.11.28 29	水産養殖研究推進全国会議	伊勢市	ワクチン研究会，イリドウィルス研究会 の活動報告 クルマエビのPAV症の発生状況 アユの冷水病について 輸入種苗の防疫問題
'95. 6.28	県内防疫会議	串本町	平成6年度県内魚病発生状況 海産魚のワクチン開発の現状
'96. 1.12	地域防疫検討会	由良町	同 上
'96. 1.17	"	串本町	"

\* 養殖水産動物保健安全対策事業費による。

イ 防疫対策定期パトロール

北部(戸津井・神谷), 中部(田辺・白浜), 南部(串本・大島) および東部(浦神・勝浦) の各養殖地域を月1~2回パトロールし, ブリおよびマダイの健康診断および魚病の予防治療についての指導ならびに防疫監視を行ない, 魚病発生の未然防止に努めた。

ウ 保菌種苗搬入防止対策

養殖用種苗の移出入に伴う魚病伝播を防止するため, ブリのビブリオ病, 腹水症, マダイの滑走細菌感染症, ビブリオ病, およびヒラメの滑走細菌感染症の検査を行った。

この結果, ブリ種苗では3検体全てで対象魚病はみられず, マダイでは7検体中1検体から滑走細菌, 1検体からビブリオと滑走細菌が, ヒラメでは1検体から滑走細菌が, 2検体から滑走細菌とビブリオ菌が分離された。

エ 魚病情報ネットワーク化

(ア) 魚病関連情報の台帳化

県下の海面養殖業者を対象に, 養殖実態, 魚病発生・被害情報, 漁場環境等の台帳化に努めた。

(イ) 漁場観測

毎月1~2回, 各地域の養殖漁場1~2カ所で水温, DO, 海水比重および透明度を測定した。

(2) 水産用医薬品対策

ア 医薬品適正使用対策

指導状況は表2に示すとおりであった。

イ 医薬品残留総合点検

公定法による検査結果を表3に示した。

(ア) 医薬品等の使用状況と残留の関連性について重要と考えられる事項

検体はいずれも投薬後60日以上経過しているため, 薬剤の残留はなかった。

(3) 新型伝染性疾病対策事業

ア 関係地域対策合同検討会

マダイのイリドウィルス感染症を対象に, 表4のとおり開催された全国イリドウィルス関係地域対策合同検討会に参加した。

表2 医薬品適正使用指導状況

年月日	場所	内容	備考
'96. 2. 6	串本町	説明会	養殖魚の配合飼料および医薬品の適正使用出席者24名
'95. 4.11 から '96. 3.22	県下各 から 養殖地域	巡回指導	戸津井, 由良, 田辺, 白浜, 串本, 大島, 浦神, 勝浦で医薬品の適正使用を指導

表3 公定法による医薬品残留検査結果(財団法人日本冷凍食品検査協会神戸事業所に委託)

魚種	検体採取		検査対象医薬品	検体数	結果
	年月日	場所			
ブリ	'95.12.13	中部	エリスロマイシン	5	残留なし
	12.14	東部	〃	〃	〃
マダイ	'95.12.13	北部	塩酸オキシテトラサイクリン	〃	〃
	12.13	中部	〃	〃	〃

表4 全国イリドウィルス関係地域対策合同検討会開催状況

年月日	開催場所	主催県	構 成 員	主 な 議 題
'95. 4.20	広島市	愛媛県 長崎県	静岡県, 三重県, 和歌山県 香川県, 徳島県, 高知県 大分県, 熊本県, 宮崎県 鹿児島県	1994年度全国発生状況 // 各県関連研究結果 1995年度各県研究計画 診断用モノクロ抗体配布体制
'95.11.28	伊勢市	同上	同上	1995年度全国発生状況 マダイにおける発症機構 ワクチンによる防除

イ 病原体侵入防止対策

(ア) 県内対策会議

1995年6月28日, 串本町において養殖業者, 水産業改良普及員および関係漁協職員による県内対策会議を開催し, 関係地域対策合同検討会における討議事項と1994年度の全国の発生状況を説明した。

(イ) 県内病原体侵入状況調査

県内の発生動向を的確に把握するため, 種苗等の脾臓スタンプ標本検査によるイリドウィルス侵入状

況調査を実施した結果, 本年度は田辺市下芳養湾の養殖マダイ0年魚および田辺湾(白浜町地先)の養殖マダイ0年魚, イシダイ1年魚, シマアジ0, 1年魚, スズキ(通称中国スズキ)0年魚で発生が確認された。

ウ 新型伝染性疾病対策関連機器整備

本年度事業として高圧蒸気滅菌器を追加要望し, 整備した。